BIOS マニュアル

――― 注意事項 ―――

BIOS 設定を間違うと、深刻なトラブルを引き起こすことがあります。
内容を変更する際はご注意いただくとともに、ご理解できない場合は変更を行わないことをお勧めいたします。
BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合、有償で引き取り・修理となることがあります。
設定したパスワードを忘れた場合、有償で引き取り・修理になります。
特に、設定した HDD パスワードを忘れた場合、修理・保守対応ではパスワードを解除できません。
この場合、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、ハードディスクドライブの交換対応となります。
（HDD 内のデータの復旧はできません。）この場合、有償での交換となります。

◆ BIOS について

BIOS とはパソコン制御を行うプログラムの一種です。搭載されているメモリー、ハードディスクなどの情報を CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域に保存し、パソコンが起動するとき内容を比較することで、本体が正常かどうかのチェックを行っています。
その BIOS が記憶する情報を変更するプログラムが BIOS 設定プログラムです。

BIOS 設定の変更を行う場合、あとで参照できるよう現在の設定をメモなどに控えておくことをお勧めいたします。
また、パソコンに接続されているハードウェアや環境により、本書の表示と多少異なる場合があります。

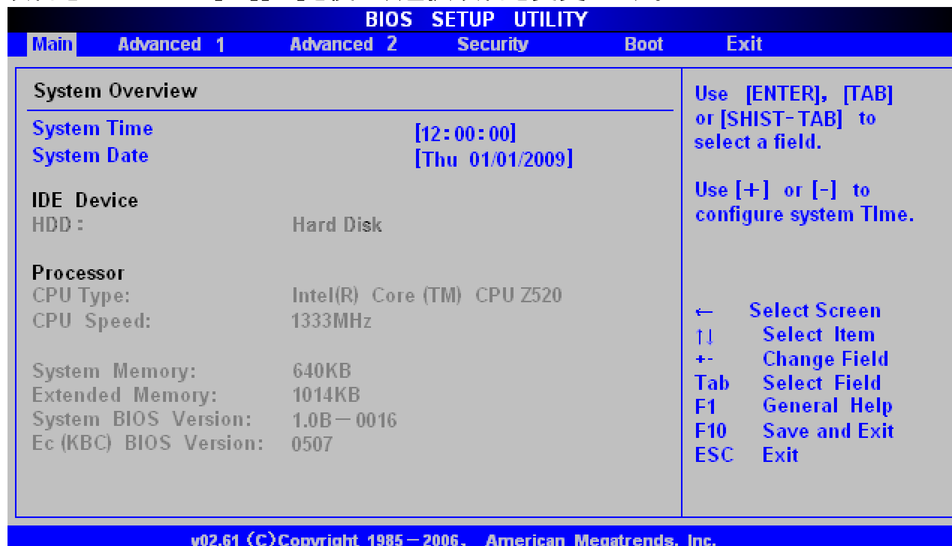
◆ BIOS 設定プログラムの起動方法

電源投入直後、ONKYO ロゴが表示されているときに ［F2］キーを数回押します。

本体のチェックが完了した後、BIOS 設定プログラムのトップメニューが表示されます。

◆ **トップメニュー**

変更したい項目をカーソルキー[←][→]を使い、選択項目を変更します。



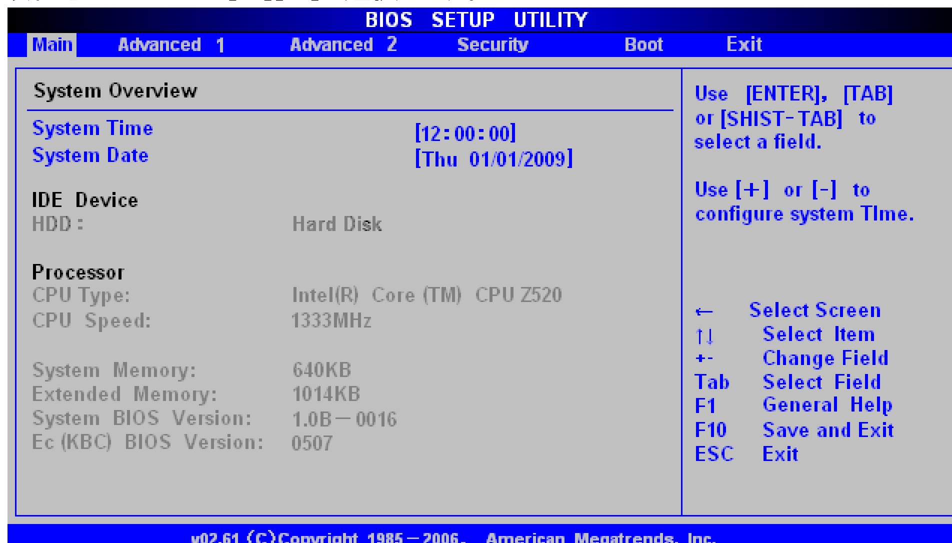
［図2］トップメニュー

トップメニューからは以下の各メニューへの切り替えができます。

- Main ・・・ 本体の時刻設定、本体の状態確認
- Advanced 1 ・・・ USB などシステム設定
- Advanced 2 ・・・ 内蔵機器の電源管理設定
- Security ・・・ パスワードなどセキュリティ設定
- Boot ・・・ 起動順位設定
- Exit ・・・ 設定の保存、取り消し、BIOS 設定の終了

◆ **Main メニュー**

変更したい項目をカーソルキー ［↑］［↓］で選択します。



［図3］Main メニュー

Main メニューからは以下の設定が行えます。

- System Time
  本体の時刻設定を行います。
  数字キーで値（24 時間制）を入力し、[Tab]キーを押すと次の項目に移動します。
- System Date
  本体の日付設定を行います。

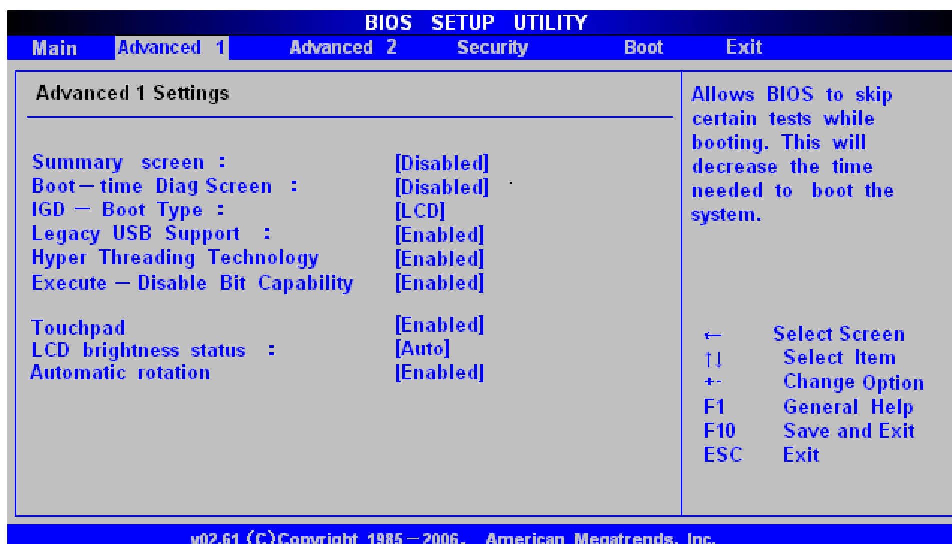
数字キーで値を入力し、[Tab]キーを押すと次の項目に移動します。

以下の項目は本機の設定が表示されます。

- IDE Device ・・・ 接続中の IDE 機器
- CPU Type ・・・ CPU の種類、型式
- CPU Speed ・・・ CPU の動作周波数
- System Memory ・・・ システムメモリのサイズ
- Extended Memory ・・・ 拡張メモリのサイズ
- System BIOS Version ・・・ システム BIOS のバージョン
- EC（KBC） BIOS Version ・・・ キーボード BIOS のバージョン

◆ **Advanced 1 メニュー**

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Fn]＋[＋]キーまたは[Fn]＋[P] キーで、設定値を切り替えます。



［図4］Advanced 1 メニュー

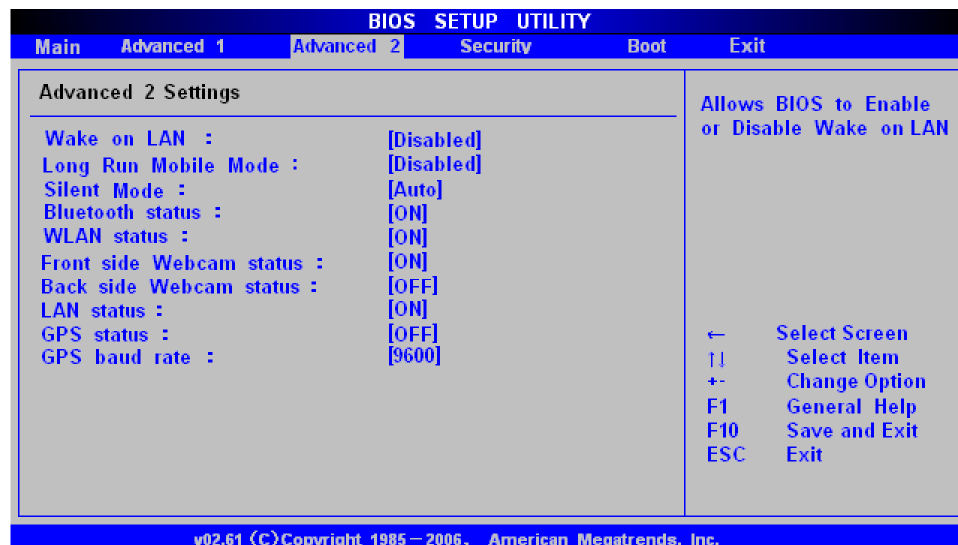
- Summary Screen
  起動時、サマリー画面を表示する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- Boot-time Diag Screen
  起動時、検査画面を表示する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- IGD – Boot Type
  起動時、画面表示を LCD のみ表示する(LCD)、アナログCRTポートのみ表示する(CRT)を指定します。
- Legacy USB Support
  Legacy OS 使用時、USB ポートのエミュレーションを使用する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。また、USB 機器、SD カードから起動する場合、(Enabled)に設定する必要があります。
- Hyper Threading Technology
  Hyper Threading 機能を使用する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- Execute – Disable Bit Capability
  Execute – Disable Bit Capability 機能を使用する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。

- Touchpad
  タッチパッド機能を使用する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
  Disabled に設定した場合、Windows 上から使用可能にすることはできません。

- LCD brightness status
  電源投入時に液晶画面の明るさを設定します。
  自動（Auto）、最大（Max）、ユーザー（User）があります。
  自動は、AC 接続起動、バッテリ接続起動により、液晶画面の明るさを自動的に切替えます。
  最大は、AC、バッテリ接続起動によらず、もっとも明るい液晶画面になります。
  ユーザーは、Windows 上で設定した液晶画面の明るさになります。
- Automatic rotation
  Automatic rotation 機能を使用する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
  リバーススタイルにした時、自動的に画面が 180 度回転します。

◆ **Advanced 2 メニュー**

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Fn]＋[＋]キーまたは[Fn]＋[P] キーで、設定値を切り替えます。



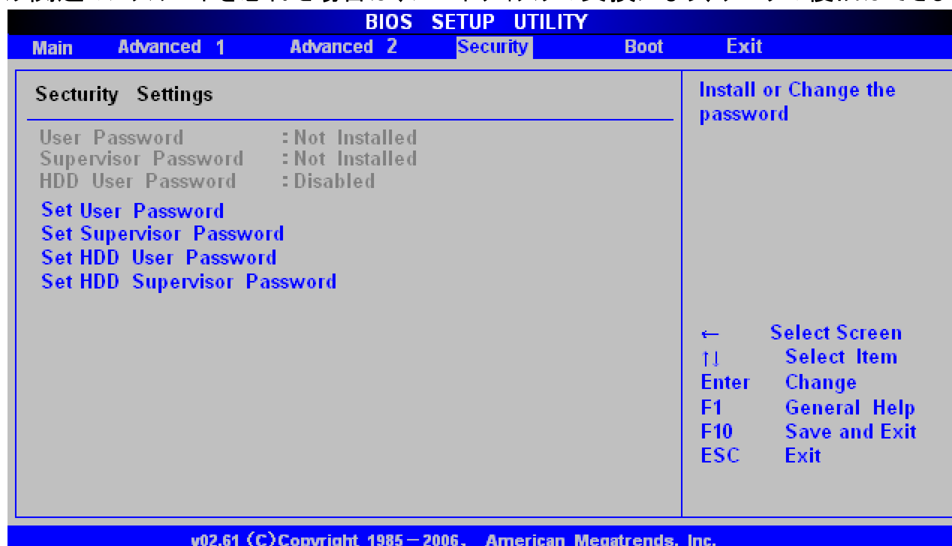
［図５］Advanced 2 メニュー

- Wake on LAN
  Wake on LAN の初期設定値を指定します。有効(Enabled)、無効(Disabled)から選択します。
- Long Run Mobile Mode
  低消費モードの起動時の初期設定を行います。有効(Enabled)、無効(Disabled)から選択します。
  無効(Disabled)にした場合、下記の項目の有効(Enabled)、無効(Disabled)を個別に設定できるようになります。
- Silent Mode
  CPU の動作クロックの制御、FAN の回転の制御の設定を行います。有効(Enabled)、無効(Disabled)から選択します。有効に設定した場合、CPU の動作クロックを下げます。
- Bluetooth status
  電源投入時の Bluetooth の初期設定値を指定します。
  有効(ON)、無効(OFF)から選択します。Bluetooth 搭載モデルのみ項目が存在します。
- WLAN status
  電源投入時の無線 LAN の初期設定値を指定します。
  有効(ON)、無効(OFF)から選択します。

- Front side WebCam status
  電源投入時の Camera の初期設定値を指定します。有効(ON)、無効(OFF)から選択します。
  有効(ON)にした場合、「Back side WebCam status」の設定が OFF になります。
  Camera 搭載モデルのみ項目が存在します。
- Back side WebCam status
  電源投入時の Camera の初期設定値を指定します。有効(ON)、無効(OFF)から選択します。
  有効(ON)にした場合、「Front side WebCam status」の設定が OFF になります。
  Camera 搭載モデルのみ項目が存在します。
- Ethernet status
  電源投入時の Ethernet(有線 LAN)の初期設定値を指定します。
  有効(ON)、無効(OFF)から選択します。
- GPS status
  電源投入時の Bluetooth の初期設定値を指定します。
  有効(ON)、無効(OFF)から選択します。Bluetooth 搭載モデルのみ項目が存在します。
- GPS baud rate
  GPS モジュールとの通信速度の初期設定値を指定します。GPS 搭載モデルのみ項目が存在します。

◆ Security メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーで設定を行います。
また、設定したパスワードを忘れた場合、有償で引き取り・修理になります。
ハードディスク関連のパスワードを忘れた場合は、ハードディスクの交換になり、データの復旧はできません。



[図6]Security メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーでそれぞれのメニューを表示します。

- Set User Password
  本体の起動、BIOS 設定の変更を、パスワードにより制限を行います。
  すでに、パスワードを設定しているときは “Enter Current Password”が表示されます。
  現在設定しているパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
  “Enter New Password”の項目に新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
  同一手順で“Confirm New Password”項目に確認のため、再度入力し、[Enter]キーを押します。
  正常にパスワードが設定された場合、“Password installed”が表示されます。
  現在設定されているパスワードを解除する際は、”Clear User Password”を選択するか、もしくは“Enter New Password”に何も入力せずに[Enter]キーを押します。“Password uninstalled”が表示されます。

- Set Supervisor Password
  本体の起動、および BIOS 設定の変更を、パスワードにより制限を行います。
  すでに、パスワードを設定しているときは “Enter Current Password”が表示されます。
  現在設定しているパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
  “Enter New Password”の項目に新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。同一手順で“Confirm New Password”項目に確認のため、再度入力し、[Enter]キーを押します。
  正常にパスワードが設定された場合、“Password installed”が表示されます。
  現在設定されているパスワードを解除する際は、“Enter New Password”に何も入力せずに[Enter]キーを押します。“Password uninstalled”が表示されます。

■ **Supervisor Password、User Password 設定後のメニュー**

Supervisor Password、User Password 設定後に増えた項目を説明します。

- User Access Level
  ユーザーパスワードでの BIOS 変更に対するアクセスレベルを設定することができます。
  “No Access”、“View Only”、“Limited”、“Full Access”の 4 種類が設定できます。
  - No Access ･･･BIOS 画面を確認することかできなくなります。
  - View Only ･･･BIOS 画面で設定を確認することができます。
    設定の変更を行うことはできません。
  - Limited ･･･BIOS 画面で“Main”、“Advanced1” 、“Advanced2”
    メニューの設定項目が変更可能です。
    （Legacy USB Support は変更不可）
  - Full Access ･･･BIOS 画面で設定変更することができます。
- Password Check
  パスワードを入力する場面を設定することができます。“Setup”、“Always”の2種類が設定できます。
  - Setup ･･･[F2]キーを押し、BIOS 確認、変更を行う際に、パスワード入力が必要になります。
  - Always ･･･KOHJINSHA ロゴの表示が消えた後でパスワード入力が必要になります。
- Clear User Password
  ユーザーパスワードを初期化します。

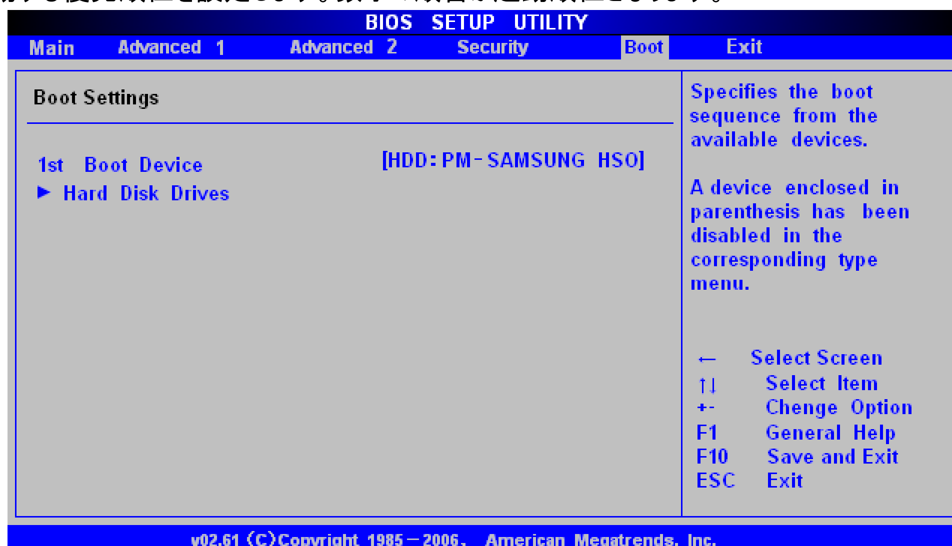
- Set HDD User Password
  ハードディスクのユーザーパスワードの設定・変更・解除を行います。
  ユーザーパスワードを設定するとコンピュータ起動時に、パスワードの入力が要求されます。
  “Enter New Password”の項目に新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
  同一手順で“Confirm New Password”項目に確認のため、再度入力し、[Enter]キーを押します。
  正常にパスワードが設定された場合、“Password installed”が表示されます。
  現在設定されているパスワードを解除する際は、“Enter New Password”に何も入力せずに[Enter]キーを押します。“Password uninstalled”が表示されます。

  ユーザーパスワード設定後、変更を保存して PC を起動させると、下記のメッセージが表示されます。
  “Hard Disk locked , enter user password ： ”
  “Pres <ESC> to switch to Master password”
  設定したユーザーパスワードを入力してください。ハードディスクより起動します。また、「ESC」キーを押して、スーパーバイザパスワードを入力することでも起動するようになります。（スーパーバイザパスワード設定時）

- Set HDD Supervisor Password
  ハードディスクのスーパーバイザパスワードの設定・変更・解除を行います。
  スーパーバイザパスワードのみを設定した場合、ハードディスクのロックはされません。
  "Enter New Password"の項目に新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
  同一手順で"Confirm New Password"項目に確認のため、再度入力し、[Enter]キーを押します。
  正常にパスワードが設定された場合、"Password installed"が表示されます。
  ハードディスクのユーザーパスワードが設定されている場合、"Enter Password"が表示されます。
  設定したパスワードを入力して[Enter]キーを押して、新しいパスワードを設定します。
  現在設定されているパスワードを解除する際は、"Enter New Password"に何も入力せずに[Enter]キーを押します。"Password uninstalled"が表示されます。ハードディスクのユーザーパスワードの設定をしていた場合、ハードディスクのユーザーパスワードも解除されます。

◆ **Boot メニュー**

機器の起動する優先順位を設定します。数字の順番が起動順位となります。

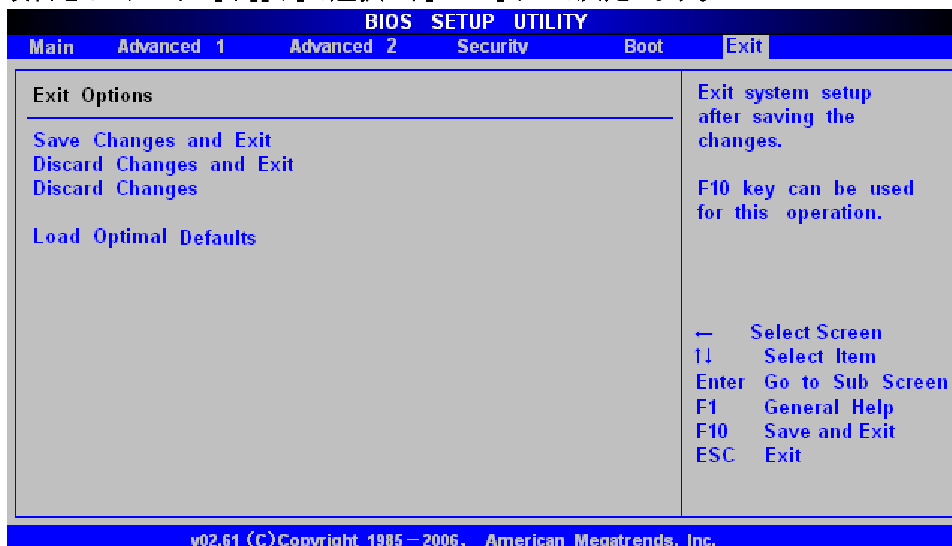


［図5］Boot メニュー

優先順位を変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Fn]＋[;]キーおよび[Fn]＋[P]キーで、順位を切り替えます。
メディスロットにカードが挿入されている場合、USB 接続機器が接続している場合には、「Removable Drivers」が表示されます。([Advanced]-[Legacy USB Support]の設定を[ON]または[AUTO]にする必要があります。)
「USB Drivers」にカーソルを移動させて、[Enter]キーを押した場合、[Fn]＋[;]キーおよび[Fn]＋[P]キーで起動する機器を選択することができます。
(光学ドライブ、フロッピードライブを接続している場合は、メディアを挿入していないと表示されません)

◆ **Exit メニュー**

Exit メニューからは以下の設定が行えます。
変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーで決定します。



[図7]Exit メニュー

- Save Changes and Exit ・・・ 現在の設定を保存し、BIOS 設定プログラムを終了します。
- Discard Changes and Exit ・・・ 現在の設定を破棄し、BIOS 設定プログラムを終了します。
- Discard Changes ・・・ 現在の設定を破棄し、以前保存されている値にもどします。
- Load Optimal Default ・・・ 現在の設定を破棄し、初期設定値にもどします。

各項目を決定すると、内容確認のためのメッセージが表示されます。それを実行する場合は[Yes]、取り消す場合は[No]をカーソルキー [←][→]で選択します。[Enter]キーを押すと決定します。